

茨城大学学報

第264号

平成17年12月～平成18年1月



大雪となった入試センター試験当日の阿見キャンパス(平成18.1.21撮影)

INDEX

- ◆平成18年年頭挨拶
- ◆地域連携に関する2協定を締結
- ◆茨城大学の施設における吹き付けアスベスト等の使用状況について
- ◆第7回茨城大学水交会を開催
- ◆体育祭を開催
- ◆忠北大学校工科大学が来学
- ◆事務局消防訓練を実施
- ◆「第10回教養教育シンポジウム」を開催
- ◆教育学部附属養護学校主催公開セミナーを開催
- ◆農学部で「市民公開シンポジウム」を開催
- ◆「NHK県域デジタルTV放送」茨大タスクフォースだより
12月号・平成18年1月号
- ◆臨時増刊号(熱風スタジアム)
Vol.1・Vol.2・Vol.3・Vol.4・Vol.5

茨城大学総務部総務課広報係

TEL 029-228-8008

FAX 029-228-8019

平成18年年頭挨拶

茨城大学は多くの「希望」を生み出し社会に向けて発信します

- 平成18年の新年にあたって -

平成18年1月4日

茨城大学長 菊池 龍三郎



新年明けましておめでとうございます。例年になく厳しい寒さが続く中で教職員や学生、さらに茨城大学をいろいろな面で支えて下さっている学外の皆さま方にはお元気で新年をお迎えのことと思います。

とりわけ「茨城大学社会連携事業会」等を通じてご寄付等を頂くなど日頃から本学のためにいろいろとご指導ご鞭撻、さらにご支援を頂いております学外の皆さま方には、この場をお借りして心から御礼申し上げるとともに、本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

振り返って昨年は、景気は一部で上向いてきたとはいえ、全体としては回復の実感を得るまでには至らず、むしろ、蓄積された社会全体の閉塞感への不満からか、IT犯罪、凶悪犯罪、とりわけ年少者を対象とする痛ましい犯罪等が数多く発生した年でした。多くの若者を預かる高等教育機関として、これらは決して他人事、余所事ではありません。昨年はまた、少子高齢化が深刻化する中で我が国で人口減少が始まったことなど、これまでの日本社会の先行きへの漠然とした不安がより明確な形をとって表れた年でありました。今年、これらの傾向がより一層強まる年になると予想しております。

そうした中、皆さま方には平成18年の年頭に当たって、今年に何を期待されたことでしょうか。この十数年来なかなか明るい展望を抱くことは難しくなっているとはいえ、高等教育機関である茨城大学では、大学としても今年はより大きな希望を生み出し、学外に発信していきたいと考えております。

私が敢えて「希望」という言葉にこだわるのは、「教えるとはともに希望を語ること、学ぶとは胸に誠実を刻むこと」と、ある詩人が謳っているように、学校、とりわけ高等教育機関である大学は、いつの時代でもどんな時でも、「希望」を生み出す意欲と力を持ち続けなければならないと思っているからであります。

しかしこれまで、国立大学は、もちろん本学も例外ではなく、すべて国立大学として付与されてきたそれなりの社会的な地位や信用に寄り掛かっていれば、企業をはじめとする外部が、用意された「希望のパイ」へのそれなりの信用を保証してくれていました。しかし、いわゆる「日本社会の失われた十年」来、私たちは、「希望」は、もはや待っていればどこからかひとりでに与えられるものではなくなっていることを知りました。気が付けば、社会のあるゆるところで既成の序列や枠組みが崩壊し、あると思ったところにはもは

や「希望のパイ」はなくなっているか、あってもごく僅かになっていることを知りました。

また、「新しいより大きな希望のパイ」はすでにごく僅かな人たちに握られてしまっていました。しかし、だからといって私たちは「希望」を捨てることはもちろん、「新たな希望のパイ」を生み出す努力を放棄することはできません。大学は教育と研究のすべてを通して、「希望」を生み出す原動力でなければならないからです。

私たちは、新しく入学してくるフレッシュマンには新鮮な希望の輝きを示してこれからの大学生活への意欲をかきたててやりたいし、在学生にはしっかり学業に励んでもらうことで単なる希望に過ぎなかったものを確たる自信に転換してやりたいし、そして卒業生には茨城大学で学んだことに大きな誇りと喜びをもって社会に送り出し、今度は自分が働く場での希望に、そして後輩たちの希望にもなってもらいたいと願っています。

私たち茨城大学は、そうした学生だけでなく、教職員にも、そして誰よりも社会の多くの方々にとっても、「希望」を生み出す原動力であるよう、本学における教育のすべての現場において、今年も積極的に改革を進めるとともにしっかりと責任を果たしていきます。

教育面では、今年は、現在の「大学教育研究開発センター」を発展的に改組拡充して「大学教育センター」を設置します。ここでは総合英語プログラムの推進、物理や数学が不得意でもすぐに好きになれる理系接続教育の実施、そして社会性や豊かな常識を備えた人間の育成を図る教養教育のさらなる充実や四年一貫教育を推進します。なかでも専門教育については、工学部等で国際規格の専門教育がスタートします。すでに始まっている理学部に加えて、人文学部も改組に伴う新カリキュラムが始まり、本学のすべての学部の専門教育は社会の新しいニーズに対応するカリキュラムで動いており、今後その成果にご期待頂きたいと思います。このように、茨城大学は、今年も、入り口から出口までを通しての一貫した教育体制づくりと教育の質の向上に努力して参ります。

学生の就職状況は、すでにほとんどの学部・大学院において、とりわけ理・工・農関係では大きく好転してきております。文系も一時の不振を脱け出しておりますが、今年は学生達が将来に大きな希望を抱けるよう、一層就職支援に力を入れたいと思います。

本学では研究活動においても、そうした新たな「新しい希望のパイ」を生み出そうとして、みんなが懸命の努力を続けています。

東海・ひたちなか・日立地区を中心とする高度の研究・人材育成エリアの形成には、地元大学として積極的に参加し、その重要な一翼を担うべく努力を続けて参ります。例えば今年は、東海村に建設中の大強度陽子加速器施設の建設に伴い、茨城県が推進するJ-Parc構想がスタートし、茨城大学も中性子線の産業利用への大きな期待の高まりの中



で、日本原子力開発機構や高エネルギー加速器研究機構等と連携しながら、その重要なパートナーとして参加します。

さらに気候変動など深刻化する環境変化に対してこの地球をどう維持していくかという世界的かつ国家的な最重要課題に関して、「サステナビリティ学（持続可能な世界の構築）研究」に取り組みます。今後の世界や日本にとってきわめて重要な研究課題であることから、すでにNHK等のマスコミによる取材を受けるなど各方面から強い関心と期待が寄せられており、今年からしっかりと準備を開始し責任を全うしたいと考えています。

これらをはじめとして、いくつかの戦略的な研究プロジェクトをスタートさせることで本学が創出する研究面での新しい希望を社会に向けて発信していきます。

今年法人化して3年目、第1期中期計画期間の中盤を迎えます。政治経済状況が「小さな政府」方針のもとに一斉に動き出し、それに伴い増々小さくなるパイを巡る省庁間の取り合いが激しさ・厳しさを増す中で、大学運営は厳しさを増します。しかし本学は、法人制度の趣旨をしっかりと踏まえ、効率化をはかりつつ、中期目標・中期計画に記載した課題を責任をもって達成し、第2期への展望を切り開くために精一杯の努力をいたします。

「地域の中で存在感があり、地域から頼りにされる大学」を目指す茨城大学は、昨年はいくつかの自治体との連携協定やカシマ・アントラーズFCとの連携協定の締結等々、相当の動きがあった年でありました。その流れは継続していきつつも、今年はそれらを具体化するとともに、茨城大学として、例えば社会連携事業会の組織基盤の充実を図る等、より足もとを固めることにも力を注いで参ります。

現内閣のもとでの改革は、与党大勝後、私たちの予想や実感を遙かに超えるスピードで進んでおります。そうした中であっても、私たち茨城大学は、しっかりと足もとを見据えながら、教職員みんなのチームワークで、課題をひとつずつ着実に実行し、多くの希望を学生だけでなく社会に対しても発信していきます。

最後に、皆様方の今年一年のご健勝を祈念するとともに、本年も茨城大学に対して変わらぬご指導ご鞭撻、さらにご支援を賜りますよう心からお願い申し上げ、年頭に当たっての挨拶と致します。

（大学ホームページから）

地域連携に関する2協定を締結

株式会社常陽銀行と連携協力に関する協定を締結

本学では、12月8日(木)(株)常陽銀行と連携協力協定を締結しました。

この度の協定は、本学と常陽銀行との連携協力を促進し、相互の発展に資するとともに、地域の発展と産業の振興に寄与することを目的として締結しました。

なお、持ち回りで調印を行い、締結式は特に行いませんでした。

株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シーと提携協力に関する協定を締結

本学では、12月22日(木)午前11時、事務局第1会議室において、(株)鹿島アントラーズと提携協力に関する協定を締結しました。

締結式は、鹿島アントラーズから、牛島 洋代表取締役社長外5名、茨城大学から菊池龍三郎学長外12名、鹿嶋市役所からもお祝いに2名が出席し、始めに出席者紹介、両代表による協定書の署名、両代表者挨拶、記者会見(質疑応答)の順で行われました。

この度の協定は、両者のノウハウを活用した協力関係の下、茨城県立カシマサッカースタジアムの利活用を含めた、鹿島地域の活性化及び大学とアントラーズの発展を図るため、両者で定めた活動の研究・事業について、協力・促進することを目的として締結しました。締結式の最後には、記者団(6社)及び学生新聞部の記者から多くの質問がありました。

今後は、それぞれ相互に、いくつかのテーマを設定し、学生参加を含めた事業の提携協力を確認しました。

なお、締結式の模様は、当日夕方のNHKテレビに放映され、また、翌日の新聞紙上に掲載されました。



固い握手を交わす鹿島アントラーズ牛島社長及び菊池学長

茨城大学の施設における吹き付けアスベスト等の使用状況について

平成17年12月9日

国立大学法人 茨城大学

I . 経 緯

文部科学省から、平成17年7月29日付けで「学校施設等における吹き付けアスベスト等使用実態調査」の調査依頼がありました。

この調査は、平成8年以前に完成した建物に使用されている、吹き付けアスベスト等について調査するものです。

この調査の全国的な最終調査結果については、文部科学省から11月29日に公表されました。

II . 調査結果

本学における調査対象施設179棟のうち、アスベストを含有している可能性がある22棟について、分析調査を実施しました。その結果、アスベストを含有している吹き付け材が使用されている箇所、飛散防止措置がなされていない箇所は、3棟で375m²確認されました。

このうち、1棟（講堂機械室・87m²）は飛散がないことが、既に確認されております。

なお、2棟（附属小学校体育館2階ギャラリー・81m²及び工学部講義・管理・共通棟階段室・207m²）についても、このたび大気中濃度測定の結果が判明し、飛散がないことが確認されました。

III . 今後の対応

上記2棟の附属小学校体育館及び工学部講義・管理・共通棟階段室については、児童、学生、教職員が日常使用することを考慮し、すみやかに除去工事に着手することとしました。なお、除去するまでの期間は、安全に注意しながら使用することとしています。

既に飛散防止措置を講じている場所を含め、安全対策に万全を期するため、劣化状況を把握しながら定期的に大気中濃度測定を行うなど適切な維持管理に努めてまいります。

リンク先：茨城大学附属小学校体育館等のアスベスト対策について(PDF)

参考：アスベスト対策について（文部科学省ホームページへリンク）

本件に関する問い合わせ

財務部施設課長 沢口(さわぐち)

電話 029-228-8040

（大学ホームページから）

第7回茨城大学水交会を開催

本学では12月9日(金)、第7回「茨城大学水交会」を同大学学生会館「茨苑会館」で開催しました。「茨城大学水交会」は本学に在職した事務系職員と現役職員との親睦を目的に開催されているもので、今回は年末の開催にもかかわらず、OB38名と現役職員46名の計84名の参加がありました。

当日は記念写真撮影の後、長谷川正文理事(事務局長)から開会の挨拶があり、引き続き各部局から具体的な取り組み状況等の近況報告がありました。

会場を学生会館内「おあしす」に移しての懇親会は、都賀善信元事務局長の乾杯挨拶、菊池龍三郎学長から諸先輩へ本学へのご尽力への御礼と続き懇談に入りました。

和やかな懇談や情報交換の中で諸先輩からは茨城大学への期待や思いが語られ、法人化後の大学改革に向けての励みとなる有意義な一時を過ごしました。

閉会挨拶は小村久米夫元事務局長がまとめ、参加者全員で茨城大学校歌を斉唱し、次の再会を楽しみに盛会の内に終了しました。



茨城大学水交会 第7回総会 平成17年12月9日 於 茨城大学

事務局前での記念写真

体育祭を開催

本学では、12月10日（土）、第56回体育祭が水戸地区第1体育館で開催されました。この体育祭は、教育学部体育専攻を中心とした体育祭実行委員会の企画によって毎年行われています。

開会式では、村中大会会長（副学長・教育担当）の挨拶があり、尾形審判長代理（教育学部教授・保健体育講座）から諸注意があった後、サンタとトナカイに仮装した男女学生により趣向を凝らした宣誓となりました。障害物走、大縄跳び、フォークダンス、玉入れ、雑巾掛けリレーなど全8種目で行われ、内容がアイデアに富んだものばかりで、体育系サークルを中心に参加学生約100名が紅白に分かれ、熱戦を繰り広げました。閉会式では優勝した白組と各種目の成績優秀者に賞状とカップなどが授与されるなど、参加学生の健闘をたたえ、男子学生の応援団長による力強いエールで幕を閉じました。



村中理事から賞状とカップが手渡されました

忠北大学校工科大学が来学

12月14日（水）から16日（金）までの3日間の日程で、忠北大学校工科大学（韓国）金性洙教授ら2名が茨城大学工学部へ来学しました。

これは、平成3年に茨城大学と忠北大学校との間で交わされた学術研究交流協定に基づく交流として毎年実施されているもので、今回が9回目の来学となります。

両名は学長及び工学部長への表敬訪問後、工学部において「高周波Noise吸収材料の設計及び解析に関する研究」の学術講演会を行い、多数の教員及び大学院生が参加し、幅広い意見交換が行われた。また、金性洙教授らは、専門分野である物質工学科の実験室及び研究室を視察し、教育・研究について熱心に意見交換を行い交流を深めました。



学長と懇談する忠北大学校工科大学（韓国）金性洙教授ら

事務局消防訓練を実施

本学では、12月16日（金）、防火予防の一環として防火意識の啓蒙啓発を図る目的とした消防訓練を実施しました。

水戸市消防本部の協力の下、火災発生を想定しての総合訓練、屋内消火栓操作訓練、消火器操作実地訓練及び防火対策のための講話並びにビデオ上映が行われました。

年末の多忙な時期での開催ではありましたが、学長や役員を含む約100名の教職員が参加し、熱心に防火予防について学びました。



菊池学長も消火器による消火訓練に参加



水戸市消防本部による講話とビデオ上映が行われた

「第10回教養教育シンポジウム」を開催

本学では、12月21日（水）13時から、総合研究棟インタビュースタジオにおいて学長以下教職員約80名の参加のもと、大学教育研究開発センター主催による「第10回教養教育シンポジウム」が開催されました。

今年度は、「適正な成績評価のためのテストのあり方」をテーマとし、株式会社リクルートマネジメントソリューションズ組織行動研究所の吉原憲一氏を招き「適正な成績評価実現のためのテスト」と題して特別講演が行われました。引き続き総合英語教育部評価部門チーフの斉田智里先生から「習熟度別積上式教育における成績評価」と題して、総合英語教育の様々な視点からの現状分析（教育効果等）や実施上の今後の課題について報告がありました。さらに、センター理系基礎教育部千葉康生先生から、今年度から理系接続教育として導入された数学（微分積分）のパイロット授業について、その実施内容と結果についての報告がなされました。

最後に総合討論が行われ、予定時間を超過して活発な意見交換があり、有意義なシンポジウムとなりました。



熱心な討論が行われたシンポジウム会場

教育学部附属養護学校主催公開セミナーを開催

本学教育学部附属養護学校では、平成18年1月21日(土)に茨城県総合福祉会館を会場とし、茨城大学社会連携事業会との協賛により「特別支援教育における私たちの役割～完結」というテーマで公開セミナーを行われ、県内外教育関係者や保護者、福祉関係者、NPO法人などから約370名の参加がありました。

セミナーは、講話「なぜ『個別の教育支援計画』なのか?」(文部科学省 石塚謙二氏)、「特別支援教育を推進するために～全職員で対応する校内組織」(国立特殊教育総合研究所 廣瀬由美子氏)、「茨城県(水戸近郊)における特別支援教育の現状」(水戸教育事務所 舛井明子氏) および事例発表「附属養護学校における『個別の教育支援計画』の策定」(本校教員より3つの事例)、「特別支援教育は職員のコミュニケーションと協力から」(日立市立宮田小学校 鈴木君枝氏)と内容も盛りだくさんで充実したセミナーとなりました。当日は大雪にも拘わらず、熱心な参加者の「障害児を支えるための今後への熱い思い」にふれることができ、また特に小・中学校教員の研修の機会として、セミナーを開催することに感謝する意見も多く聞くことができました。



附属養護学校宮本教諭による事例発表

農学部で「市民公開シンポジウム」を開催

本学農学部では、1月28日(土)、農学部講義棟100番教室において、「農業・生物のもつ福祉力を考えよう - 園芸療法・動物介在療法を生かした『茨城型』地域福祉へのアプローチ - 」と題して市民公開シンポジウムを開催しました。

内容は、基調講演「障害受容などの心理的側面からみたりハビリテーション」(茨城県立医療大学附属病院副院長 新井雅信氏)、「茨城県における園芸療法の現状」(いばらき園芸療法研究会(IHT)会長 登坂ユカ氏)、「地域でのアニマルセラピーの実践」(NPO アニマルセラピー協会理事長 小田切敬子氏)を初め、パネルディスカッションでは「茨城県の精神医療と園芸療法」等について時間が足りなくなるほどの活発な議論が展開されました。当日は会場に入りきれない153名もの参加者があり、この分野に対する一般市民の興味の高さを改めて実感するとともに、農学の新たな発展方向の一つを明示する機会となりました。



一般市民も多数参加したシンポジウム会場の様子

- 「NHK県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 12月号 -

毎週木曜の18時35分から、NHK水戸放送局公開スタジオ「わいわいデジタル便り」のコーナーでは、本学や筑波大、東京芸術大取手キャンパスの学生が提供した映像作品が紹介され、併せて、企画・撮影にあたった学生たちが司会者とトークを行っています。

平成17年12月8日(木)・・・エコノパワーへの取り組みを知ってもらおう！

(工学部機械工学科 塚越広光くん)

エコノパワーとは、Hondaエコノパワー燃費競技全国大会という「1リットルのガソリンでどこまで走れるか」を競う大会です。車両は、50ccバイクのエンジンを使用し、規定走行距離を規定時間以内に走行して、走行前と走行後の燃料の重量を計測、その重量差から消費量を計算し、最も消費量が少ないチームが優勝するというものです。

今年開催された第25回大会に、我々エコノパワー競技クラブは「チーム茨城大学」として2度目の出場をし、前年に果たせなかった完走を見事達成しました。今回は、この大会へ向けた車づくりと大会の様子を写真や動画を交えて紹介し、スタジオに実車を持ち込んでお見せしました。



写真の右下が 小田切アナウンサー
左下が 泉アナウンサー
出演者のエコノパワー競技クラブの
皆さんたち

NHK水戸放送局収録スタジオにて

下段左から :泉アナ、山田くん、塚越くん、小田切アナ
永島くん、竹中くん、丸橋くん、鳥居くん
黒田先生、伊藤先生、小松先生、

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

- 「NHK県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 1月号 -

毎週木曜の18時35分から、NHK水戸放送局公開スタジオ「わいわいデジタル便り」のコーナーでは、本学や筑波大、東京芸術大取手キャンパスの学生が提供した映像作品が紹介され、併せて、企画・撮影にあたった学生たちが司会者とトークを行っています。

平成18年1月12日(木)・・・茨城大学でも一般の人が利用できることをアピール

(教育学部情報文化課程 添田拓郎くん)

大学というものは、その大学に所属している学生しか使用できないという先入観をもたれがちです。また、学生ばかりでなかなか大学内に入ろうとするにも、何か入りたがり雰囲気や大学自体が出していると思われると思われがちだと思います。

しかし、実際は大学内でもさまざまな場所が一般の人でも使えるのですが、それを認知している人はまだまだ少ないのが実際の状況なんです。そういったものを払拭するためにも、茨城大学で一般の方がこういったところを利用できるのか紹介しました。



写真の右端が 小田切アナウンサー
中央付近が 熱風スタジアムに出演した
踊り屋と応援の皆さん

左上に出演者の4人

NHK水戸放送局公開スタジオにて

岡本さん、野澤さん、添田くん、三木さん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

- 「NHK県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 1月臨時増刊号 Vol.1 -

平成18年1月10日(火)から1月20日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学学生サークルが出演しました。

平成18年1月10日(火)・・・Impressive Voiceの活動紹介
スタジオでアカペラの「キューティーハニー」を歌いました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて
左から:恩田さん、小山さん、藤原くん、
浅川くん、小田切アナ、榎本さん、
宮井さん、岩田さん

平成18年1月11日(水)・・・邦楽研究会の活動紹介
スタジオで「残光の彼方へ」を演奏しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて
左から:小田切アナ、
邦楽研究会(重田さん、半田さん、
釘屋さん、佐藤さん、柴山さん、
竹内さん、村田さん、吉原さん、
渡辺さん)と応援の皆さん
総合司会の放送研究会の
坂野さんと長谷川さん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

- 「NHK県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 1月臨時増刊号 Vol.2 -

平成18年1月10日(火)から1月20日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学学生サークルが出演しました。

平成18年1月12日(木)・・・ストリートダンスサークル踊り屋の活動紹介
スタジオでポップメインの「フリースタイルショーケース」を踊りました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて
右端:小田切アナ、
踊り屋(石蔵くん、永治くん、
吉本くん、一ノ瀬くん)
と応援の皆さん、
デジタル便りの添田くん、岡本さん、
野澤さん、三木さん
総合司会の放送研究会の森島さん

平成18年1月13日(金)・・・落語研究会の活動紹介
スタジオで「大喜利」を披露しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて
左から:小田切アナ、大内さん、
石川さん、菊池さん、根本さん、
稲見くん、井上くん、
総合司会の放送研究会の
長谷川くんと久保さん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

- 「NHK県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 1月臨時増刊号 Vol.3 -

平成18年1月10日(火)から1月20日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学学生サークルが出演しました。

平成18年1月16日(月)・・・大道芸サークル「スウェット組合」の活動紹介
スタジオで「フラワースティック」と「カードマジック」を披露しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて
右から:小田切アナ、
スウェット組合の
津野さん、小塚くん、高橋くん

総合司会の放送研究会の
久保さんと宇津宮さん

平成18年1月17日(火)・・・ハンドボール部の活動紹介
スタジオでハンドボール部の練習風景や監督のVTRを流して活動紹介しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて
左から:小田切アナ、大河内さん、
西波さん、川本くん、辻井さん、
由田さん、須賀さん、森山くん、
向田くん、高橋さん、小林さん、
吉原さん、田中さん、飯村さん、
佐竹さん、久保田くん、民口くん、
戸塚くん、宮崎くん、伊佐川くん、

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

- 「NHK県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 1月臨時増刊号 Vol.4 -

平成18年1月10日(火)から1月20日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学学生サークルが出演しました。

平成18年1月18日(水)・・・Jazz研究会の活動紹介
スタジオで「Mr.P.C」を演奏しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて
右端は、小田切アナ

左から：Jazz研究会の

加瀬くん、紺野くん、
濱脇くん、石崎くん、森くん

総合司会の放送研究会の

立島さんと坂野さん

平成18年1月19日(木)・・・中南米音楽研究会の活動紹介
スタジオで「コーヒールンバ」を演奏しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて
右端は、小田切アナ

左から：

中南米音楽研究会の徳淵くん、
松居くん、赤坂さん、堀くん、
加藤さん、日高くん、井齋くん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

- 「NHK県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 1月臨時増刊号 Vol.5 -

平成18年1月10日(火)から1月20日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学学生サークルが出演しました。

平成18年1月20日(金)・・・漕艇部の活動紹介

スタジオでバーベルによる筋トレ「ハイプル」、「エルゴ」によるトレーニングを実演しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて

左から:小田切アナ、

総合司会の放送研究会の

豊田くと岩佐くん

漕艇部の渡邊くん、戸田くん、

宮越くん、井出くん、大井くん、

水多さん、長野さん、遠藤さん、

大久保くん、星野くん、陶山くん、

松島くん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。